

慶応二年七月四日より慶応二年七月八日まで

P8310605 right

□来る、出 殿、御委任状御右筆所へ頼み□□□へ渡す、甲州共々（中央と別は本番の趣にて断り也、

午時より

大中寺へ至る、カシヨンも此事出府いたし新定条約校正次第第五時帰宅

五日 酉 晴

金蔵暑見□番の紹介□にて、母を呼寄度旨申出に付、使を以申遣し、且医小川を呼診察せしむ即時母並医道玄とも来る、出 殿、仏ロセス此の事長崎より帰着今午下第二時

御老中方御致し也の義願立周防守殿御宅へ御招有之、河内守殿縫頭殿、出雲殿三名

且列席右へ廻る（長征御模様目撃の義等、縷述す）正覚稽古に来る須崎（常）来る、此の程中、

□□

の義、柳亭へ及懸合処、談判□纏の趣、猶借置の都合申含遣す

六日 戌 晴

P8310605 left

七夕の□幡幟を掲ぐ、松盛斎稽古に来る、長蔵来る、金蔵病を問う也岩間

（哲蔵、西村鉄三郎次男なり）初て来り面す、見廻□に付、本日宅調の義、御□え申遣す、須崎（常）来る

柳亭懸合し紛紜申聞、保三来る、周転病のために医□洋を招き診

察、療養せしむ、金八文助来る、□を買う

七日 亥 晴

長蔵当賀に来る、御番守中に付御禮無し、殿中白□子早□り也

詰番□斉出

殿、

八日 子 晴夕雲

川島（勇）初て来たり面す、（下等の極）、医南洋の□、野転専鉢を視問す、柳亭稽古に来る

（内は細字双行（一行に小さい文字で二行書き）などの場合です。

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。

【判読不可】、■は、文章の一部に汚れ、虫食いにより文字が無い等です。